



八種競技でインターハイに出場する宮下さん

市船・宮下さんインターハイ出場 予選で八種競技の高1 歴代最高記録を更新

市立船橋高校1年・宮下輝一さん(椿)が、8月2日(水)～6日(日)に北海道で開催される「全国高等学校総合体育大会陸上競技大会」に出場します。

宮下さんは、6月16日～19日に開催された南関東地区予選会において、男子八種競技(①100m ②走り幅跳び ③砲丸投げ ④400m ⑤110mハードル ⑥やり投げ ⑦走り高跳び ⑧1500m)で高校1年生の歴代最高記録となる5682点を記録。上級生を抑え優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。

7月10日に宮内市長を表敬訪問した宮下さんは、「インターハイ3連覇という高校3年間の目標に向け、まずは1年目。格上の選手に勝って優勝を狙います」と意気込みを語りました。

フクロウ3きょうだい巣立つ 個人宅の庭木のうろの中で成長

野田地区野手の大木等さんの自宅で、庭木のうろの中にフクロウが産卵し、3羽のひなが生まれました。

大木さんは5月の始めごろ、庭のシイの木のうろの中に鶏卵ほどの大きさの三つの卵を発見。しばらくすると親鳥が戻ってきて、それがフクロウの卵だと判明しました。それから1カ月程度経って生まれたひなは、親鳥の世話を受けてすくすくと成長し、6月下旬ごろには3羽とも巣立っていきました。

大木さんは、「こんなことは今までなかったので驚きました。今は、昼間はもういませんが、夜には戻ってきて木の上で鳴いたりしています。親鳥がひなをカラスから必死に守って育てていたの、無事に巣立ってよかったです」と話していました。



1木のうろから顔をのぞかせるフクロウのひな 2子育てに励む親フクロウ 3うろを指し示す大木さん(12は大木さん提供)



病児・病後児保育を実施する
複合型児童館FLOWER CHILDREN(同館提供)

病児・病後児保育に対応

複合型児童館FLOWER CHILDRENがオープン

匝瑳市で初めて「病児・病後児保育」を行う施設である複合型児童館「FLOWER CHILDREN」が、旧はしば医院を改装して6月に開設しました。

この施設は、複合型児童館として、①小規模認可保育園、②放課後児童教室、③病児・病後児保育を実施するものであり、これらの事業を通じて、地域に根差した子育て・就労支援の実現に寄与するものです。

◆施設概要

名称…一般社団法人橋花会複合型児童館
FLOWER CHILDREN

所在地…匝瑳市今泉485番地

連絡先…☎75-4401、ファクス75-4402

ホームページ…<https://www.flower-children.com/>



▲同施設ホームページはこちら

☎福祉課子育て支援班☎73-0096



全国大会へ出場する八日市場中央スポーツ少年団の選手たち

チーム一丸となり日本一を目指す 八日市場中央スポーツ少年団が全国大会へ出場

八日市場中央スポーツ少年団が、8月5日(土)～11日(金)に東京都で開催される「第43回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント」に出場します。

同チームは、5月～6月に千葉市などで行われた同大会千葉県予選に出場。トーナメントを勝ち抜いて迎えた決勝戦では、初回で1点をとった後、相手を無得点に抑え、「スミ1」で見事千葉県代表の座を勝ち取りました。

6月15日に宮内市長を表敬訪問した同チーム主将の富永孝太郎さん(八日市場小学校6年)は、「今までの練習の成果を発揮し、チーム一丸となって日本一を目指します」と意気込みを語りました。

八重垣神社祇園祭が新たに選定 県誕生150周年を機に、ちば文化資産も150件に

本市を代表する夏の伝統行事「八重垣神社祇園祭」が、「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」に選定されました。

ちば文化資産とは、千葉県が“多様で豊かなちば文化の魅力”を特徴づけるモノやコトを、県民投票などにより選定するもので、建築や景観、食べ物など111件が平成30年に選定。今回、県誕生150周年を機に追加選定が実施され、計150件となりました。

選定セレモニーが、県民の日である6月15日にそごう千葉店(千葉市)で行われ、熊谷俊人知事から八重垣神社八雲会の平山政利会長に選定証が手渡されました。



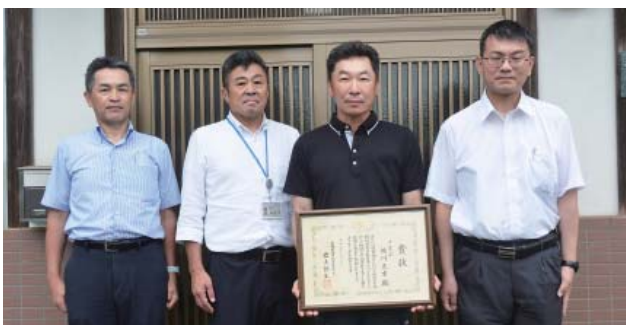
熊谷知事(左)から選定証を受け取った平山会長

越川さんへ関東農政局長賞 飼料用米多収日本一コンテスト

市内で農業を営む越川^{てるしげ}光重さん(大寺)が、令和4年度「飼料用米多収日本一」コンテストで関東農政局長賞を受賞し、7月6日に表彰状が渡されました。

この賞は、千葉県を含む1都9県管内で、10アール当たりの収量の多さと地域平均からの増収量を競うもの。約10年前から飼料用米を作っている越川さんは、令和4年にアキヒカリを約5ヘクタール栽培し、地域の平均収量を143kg上回る10アール当たり722kgの収量を実現しました。

受賞した越川さんは、「飼料用米、主食用米にかかわらず、いいお米をこれからも作っていききたい」と話しました。



受賞した越川さん(右から2番目)と関東農政局職員ら

余った食品を、必要とする人へ 市内でフードパントリー活動が始まりました

本市でフードパントリー活動を行うボランティア団体「フードパントリーそうさ」が発足し、5月から活動を開始しました。

「フードパントリー」とは、家庭や企



寄付募集(5月14日。大館さん提供)

業で余った食品を寄付してもらい、必要とする人に届ける活動。5月4日・14日に食品の寄付募集が行われ、主食・副食・飲み物・缶詰のセットを100セット以上作れるほど食品が集まり、6月17日に行われた配布で、訪れた約20人にそれらが渡されました。

代表の大館^{としゆき}功幸さんは、「『この団体があるから安心できるよね』と言われるような団体になりたいです。一緒に活動するメンバーも募集中です」と話していました。今後の活動の予定などはフードパントリーそうさのインスタグラムをご確認ください。



▲インスタグラムはこちらから